

青井記念館美術館

はぐくみ会だより

第 47 号

平成31年 4月 1日



「前田利長公像」

原型師 米 治 一 作
(大正2年 金工科卒業)

富山県工芸学校金工科を卒業すると、大正2年に東京美術学校予備科に入学し高村光雲に師事しました。同8年に東京美術学校彫塑科を卒業して、さらに研究科に進学し中央での活躍を期待されるも、事情があつて大正10年に帰郷しています。

高岡で原型師としての本格的な活動を始めました。米は、展覧会にはたった一度しか出品することはありませんでしたが、生涯のうちになんと2000基以上の銅像を作り上げました。一生のうちこれほどの数の銅像を作った人はいませんでした。米の銅像は全国各地に分布しており、その品格ある作風は今もなお多くの人々に愛され続けています。二上山の伴家持像、高岡古城公園内の前田利長像、福岡県JR博多駅前の巨大な黒田武士像や、和歌山県田辺市湊の弁慶像、岩手県水沢公園の後藤新平像、福岡県JR小倉駅前の祇園太鼓像、福井県永平寺の一葉観音像、長野県野尻湖の金龍銀龍などは代表的な米治一作品です。また、皇居二重橋の勾欄照明塔や皇居新宮殿屋上の「瑞鳥」を製作したことでその名を高めました。

高岡市民功労者表彰、富山県功労者表彰、勲五等雙光旭日章受賞など高岡銅器の発展と文化財保護に尽力した。

第25回 青井中美展

11月15日(木)～12月2日(日)

県内中学校や特別支援学校から37校から485点の応募があり、絵画、彫刻、工芸、デザインの分野から265点の入選作品が選ばれた。

各賞受賞者

青井大賞	高田 愛 (戸出)
富山県知事賞	松長 愛 (城端)
富山県教育委員会教育長賞	宮松 妃亜来 (中田)
最優秀賞	吉田 遊舞 (芳野)
優秀賞	高島 吉平 (芳野)
富山新聞社優秀賞	西野 碧 (早月)
チューリップテレビ優秀賞	藤川 白麗 (出町)
優良賞	勝又 佳都 (小杉)
優良賞	松川 鈴華 (城端)
富山新聞社優良賞	谷口 千紘 (高陵)
富山新聞社優良賞	嶽本 和奏 (出町)
チューリップテレビ優良賞	山本 千晶 (西町)
チューリップテレビ優良賞	高松 楽羅 (小杉)
佳作	高柳 志帆 (志貴野)
佳作	西村 晴気 (蟹谷)
佳作	長谷川 隼介 (津沢)
佳作	高森 駿介 (高岡西部)
佳作	北山 萌華 (大門)
佳作	石川 小あ (小杉)
佳作	山下 佳純 (戸出)
佳作	内嶋 愛 (高陵)
佳作	西川 真裕香 (西條)
佳作	辻井 大志 (西井)
佳作	西野 柚香 (蟹谷)
特別賞	石村 葉月 (芳野)
特別賞	南村 葉月 (芳野)



● 富山県知事賞 「談笑」
南砺市立城端中学校
三年 松長 愛



● 青井大賞 「待ちぼうけ」
高岡市立戸出中学校 三年 高田 愛



● 富山県教育委員会教育長賞
「ハーバリウム」
高岡市立中田中学校
三年 宮松 妃亜来



同窓生ギャラリー

第124回

デザイン絵画科4期生同窓展
7限目の実習

12月15日(土)～1月13日(日)



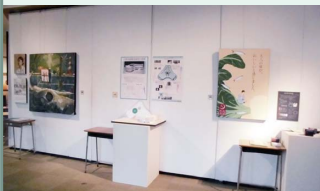
同窓生17名が絵本やパソコンで描いたイラスト、自分でデザインした服など多様な作品を展示。
代表 上野 綾華

今回は私達デザイン・絵画科4期生同窓展をさせていただきます。
事の発端は私と友人の「卒業後のみんなの作品を見たい」という会話だったのですが、実際計画を進めていくと自分たちが見たいという気持ちと共に、これだけ人が集まったなら後輩たちにも見て欲しいと感じました。
「工芸で学んだことは無駄にならないよ、卒業後にはこんな作品が作れるよ」と伝えられたら、と。そんな気持ちで取り組み始めた結果、展示会名も「数ある候補の中から多数決でした」7限目の実習に決まり理に適ったのではないのでしょうか。実際に集まった作品はどれも素晴らしい、参加者の学生時代を知っているからこそお互いに成長したなあと感慨深いです。社会に出た人、大学や専門に通っている人…。卒業式という分岐点で選んだ道はそれぞれ異なりますが、こうして作品を通してまた再会できたことが一番の喜びです。
最後に、今回の展示を協力して下さった方々、友人、見に来て下さった皆様にご感謝します。本当に有難うございました。

平成30年度 課題研究作品展

各学科で学んだ3年間の集大成として、テーマを決めて一年間かけて制作した作品を一堂に展示した。

平成30年2月16日(土)～3月1日(金)



「素晴らしきものづくり」 教頭 磯辺 哲

平成30年度課題研究作品展が、本校青井記念館美術館にて平成31年2月16日(土)から3月1日(金)まで開催されました。

本校では、「課題研究」を3年間で学んだものづくりの集大成とし、1・2年生のものづくりで学んだことや、各学科の専門科目で学んだことを応用、活用して、より現実的、実質的なものづくりに取り組んでいます。具体的には、個人またはグループでテーマを設定し、約1年かけて構想からその実現のための研究や作品製作に取り組みます。

展示された作品は多岐にわたり、紙面の都合で紹介できませんが、機械・電気系生徒によるロボットやゲームマシン、建設系生徒による各種建築物の提案や橋梁模型、工芸デザイン系生徒によるプロの作品に引けを取らない工芸作品やデザイン関連の提案など、いずれの作品も3年間学んできたものづくりの知識と高校生らしい発想を活かしたものでした。この知識と発想で将来の技術者やクリエイターに育ってほしいと心から期待が持てるものでした。

最後となりますが、この作品展に足をお運びいただいた皆さまに心よりお礼と感謝を申し上げます。

工芸科作品展2019

3月16日(土)～4月21日(日)

工芸科1・2年生の木材工芸コース、金属工芸コース、漆工芸コースのそれぞれ伝統工芸について学習の成果を披露した。

〈作品の紹介〉

- 木材工芸コース 継手の見本
- 金属工芸コース ポストカード入れ・彫金パネル
- 漆工芸コース 塗箸
- 工芸技術基礎 箸・レタリング・錫のオーナメント
- 工芸計画 巻物
- 工芸計画 雪をモチーフにした立体

「私の絵巻」 工芸科 二年 渡辺 志乃

私は、今回の作品展で工芸絵画の授業で取り組んだ絵巻を出展しました。一人一人が一から物語を考えているので、それぞれの個性が詰まった作品になっていると思います。

私は絵巻は昔というイメージがあったため登場人物を妖怪の鬼にしました。鬼から考えた物語は、赤鬼、青鬼、黄鬼の三匹の仲の良い兄弟がいて、その三匹はともオシャレでパンツを大切にしています。しかしそのパンツを悪魔が盗んでしまい、三匹が協力して取り返していくという物語です。

授業で習った三つ「異時同図法」、「吹抜屋台」、「すがり霞」を用いた作品を作りました。この三つの技法をどこで用いられているかを探しながら作品を見て頂ければとても嬉しいですよ。また、鬼が目立つように一度墨で骨描きをし、たくさん工夫をしました。



第125回

三軌会写真部 富山県支部展

風景や動物など力作を展示。

三軌会写真部富山県支部長 小竹 八郎

三軌会写真部富山県支部展は、公募美術団体三軌会の5月に国立新美術館に作品を出展している富山県在住者による展示会です。

今回、工芸高校の卒業生の湊友希君の關係で青井記念館美術館で展示会を開催することにになり、大変喜ばしく思っています。また、会期中は多くの写真愛好者に作品をご高覧頂いたのは、私どもには大きな喜びでした。

今、来年度の開催に向けて制作活動に励んでおります。多くの写真を愛する皆さん、お待ちしております。



12月15日(土)～1月13日(日)

企画展

●デザイン・絵画科作品展 ギャラリーD

1、2年生がポスター、フアッション、漫画といった自主制作から1、2年生が実習で描いたデッサンや校内コンペに出展した個性あふれる作品を披露した。また今回は富山大学芸術化学部との教育連携による成果も発表した。

「制作展に参加して」

デザイン・絵画科 一年 橋本 鴻暉

私達が授業で制作した作品や個人作品、大学生の方々の共同制作である空間表現を多くの方々に見て頂いて、とても嬉しく楽しかったです。また勉強になることも沢山ありました。同じクラスの人の個性というか、表現が面白く、先輩方のデッサンは経験の差を感じさせました。個人作品のスペースでは漫画やイラスト、服のデザイン等、デザイン・絵画科の生徒らしい作品が展示されており、趣味全開の場所でした。最後に空間表現では、普段は一人で一つの作品しか作っていなかった為、大勢で何かを作ることは、とても新鮮でした。元々制作展の始まりは、「もつと自分の作品を多くの人に見てもらいたい」という生徒の想いから始まったと聞きました。僕は人に見られることは少し恥ずかしいのですが、それでも来て頂いた方々に「面白い、楽しい」と言ってもらえて嬉しく思いました。

デザイン・絵画科 二年 木村 広紀

制作展を鑑賞して、一年生・二年生・三年生の作品全て素晴らしいと思いました。実習の課題やデッサン、ポスターは綺麗で完成度が高いものでした。私は自分の作品を見られることに少し抵抗がありますが、人の作品が見られることは良いものだと思います。一年生の時と比べて、私はまだまだ未熟ですが、随分成長したと実感します。一年間で成長できたなら、今年はその倍以上成長できるよう努力していきたいです。誰に見られても恥ずかしくない、むしろ見て欲しいと思えるほどの作品を制作できるようにになりたいと思います。

虹色の空間 共同制作



富山県立高岡工業高等学校 富山大学芸術化学部

高岡工業高校の生徒と富山大学芸術化学部の学生は25日、高岡市中山の高岡工業高等学校北校美術館でワークショップを行い、空間演出を完成させた。題名は「人を招きたい空間をつくろう」。生徒が自宅から持ち寄ったおもちゃや縫いぐるみ、紙袋などを飾り付け、館内の一部を虹色に仕上げた。【webunに写真投稿】

高岡 青井記念館美術館

富山大学 富山工業 共同制作

おもしろい縫いぐるみで装飾

富山大学 富山工業 共同制作

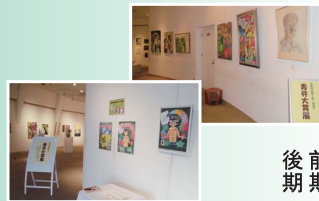
富山大学 富山工業 共同制作

(北日本新聞掲載)



収蔵作品展 II・III期

前期 11月15日(木)～12月2日(日)
後期 3月9日(土)～3月28日(木)



青井大賞展は青井中美展開催時に同時に開催したため、展示スペースが限られ(前期)は第1回からの絵画作品9点のみの展示となった。(後期)は第25回までの絵画作品と立体作品を合わせた全作品を展示。

お知らせ

はぐくみ会の会員の募集

- 年会費(年1回納入)
 - ・一般会員(個人) 2,000円
 - ・特別会員(企業・団体) 10,000円
- ・会費納入は左記へお願いします。
(直接事務室への納入も可能です。)

郵便局 口座番号 00710-031367
富山県立高岡工業高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会
TEL (0766)2116300
連絡先 高岡工業高校

編集発行

富山県立高岡工業高等学校
青井記念館美術館はぐくみ会
住所 933-8518 高岡市中山一-1-20
TEL (0766)2116300
FAX (0766)2116311